

沖縄プレミアムシルクの可能性を世界に届ける！

会社名 株式会社沖縄UKAMI養蚕
 所在地 沖縄県国頭郡今帰仁村字平敷267番地 1・D号室
 従業員 9名
 資本金 100万円
 売上高 83百万円
 業種 蚕の飼育・養蚕農業

沖縄産エリ蚕



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 沖縄発のエリ養蚕で、化粧品材料への展開を行うと共に、健康食品、医療分野などへの新規事業展開を行う。養蚕多角化経営により、沖縄の産業育成、人材雇用等、地域振興に貢献したい

支援を受けてできるようになったこと

After

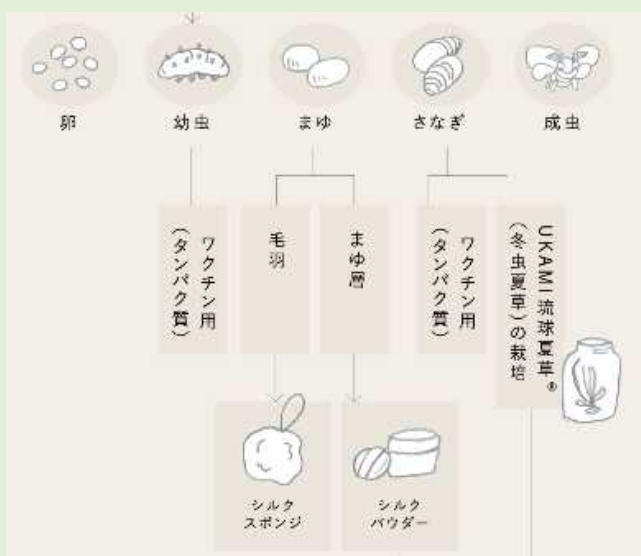
- 共同研究に係る知財や契約に関する組織的なスキルが大きく向上し、戦略的な開発に弾みがついた。
- 今後の事業展開に向けて、海外展開や資金調達等、重要な論点について整理が進んだ。

今後の事業展開の展望

Future

- 開発が進む、ワクチン、検査キット等を製品化し、新規事業を立ち上げていきたい。

重点支援を受けた事業や商材



- 従来の養蚕業から、エリ養蚕が有する機能に着目し、独自ブランドの化粧品を製造・販売している他、健康食品等を開発。
- 加えて医療用途として、動物用ワクチンの開発に注力しており、今後の製品化が期待されている。

重点支援を実施するにあたって整理した課題



| 取り組んだ課題 | 課題に取り組んだ背景・理由 |
|------------------|---|
| 共同研究機関との契約管理 | 今後の事業展開を見据えた知財・契約関係の検討が重要であるにもかかわらず、必ずしも十分な検討が行われていなかった。 |
| ワクチン開発に伴う知財管理 | 医薬分野における知財戦略（特許調査、出願検討を含む）の重要性に鑑み、しっかりと知財管理の在り方を考える必要があった。またノウハウ保護等も必要であった。 |
| 海外輸出マネジメント | 開発中のワクチンの主力市場は海外であり、海外輸出を念頭においた開発、事業戦略が必要であった。 |
| 事業戦略、事業安定化マネジメント | 資金調達も含め、長期的な事業戦略と事業を遂行する体制、資源を戦略的に確保・構築する必要があった。 |

重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



| 支援を受けた事項 | 支援を通じてできるようになったこと | 活用専門家 |
|------------------|--|---|
| 共同研究機関との契約管理 | <ul style="list-style-type: none"> 共同研究に係る契約スキルが大幅に向上 共同研究に際しての留意点等は、チェックリスト化して社内に共有された。 | <ul style="list-style-type: none"> 契約専門家 |
| ワクチン開発に伴う知財管理 | <ul style="list-style-type: none"> ワクチン等の開発の進捗に合わせた知財戦略を検討 | <ul style="list-style-type: none"> 弁理士 |
| 海外輸出マネジメント | <ul style="list-style-type: none"> 海外展開に向けた論点の整理等が進んだ | <ul style="list-style-type: none"> 中小企業診断士 |
| 事業戦略、事業安定化マネジメント | <ul style="list-style-type: none"> 長期的な視点に立った事業戦略・事業安定化に向けた助言、検討を踏まえ、論点が明確となった | <ul style="list-style-type: none"> 中小企業診断士 |

支援チーム紹介

リーダー専門家: 中小企業診断士 中谷 豪太

活用専門家: 弁理士、契約専門家

知財総合支援窓口担当者: 沖縄県知財総合支援窓口 宮川 準

PO(プログラムオフィサー): 中 泰広